

令和3年1月21日

【アクティビティサポートセンターゆいご利用の皆様へ】

新型コロナウイルス感染症発生のご報告とお願い

緊急事態宣言が発出され、アクティビティサポートセンターゆいは3日間の閉所となり、利用者の皆さんは、大きな不安を感じていることと思います。

1月18日（月）PCR検査により、特定非営利活動法人ヒーライトねっと アクティビティサポートセンターゆいのスタッフ1名の新型コロナウイルスへの感染が判明いたしました。1月14日まで当該事業所に通勤しておりましたことを、改めてご報告いたします。

事業所においては、江戸川区保健所の指導のもと、利用者及びスタッフの安全の確保、感染防止のため、1月18日から20日まで閉所し、事業所内の消毒作業を念入りに行い、本日から開所しております。陽性者は、マスク等、感染予防に徹した活動をしており、保健所や医師の最終判断で濃厚接触者はゼロとなりました。法人独自の判断で、1月19日（火）陽性者と近い活動を行っていた方々10名を準濃厚接触者と定め、1月21日（木）まで通所自粛の協力をお願いし、22日（金）に法人任意の抗原検査の対象者と致しました。準濃厚接触者は、陰性を確認後に入室いただきます。また、準濃厚接触者に該当せず、感染の心配を強く持たれている利用者も、ご希望の場合、抗原検査を行うことができます。スタッフにお声がけください。

事業所を利用する皆さまにお願いがあります。熱があるなど、健康上の理由で通所等が難しいと感じた方は、各事業所にご連絡いただき、無理な外出をしないようお願いいたします。

また、当事業所は可能な限り開所を継続していく予定ですが、感染状況によっては、活動内容に変更があるかもしれません。ご理解の程よろしくようお願いいたします。

感染拡大が進むと、ウイルスへの恐怖が高まります。冷静さを失うと、偏見差別につながり、頭ごなしに非難してしまうかもしれません。自分が偏見差別を受ければ、すぐにわかるのに、人に対して偏見差別するとき、私たちはそれに気付きません。差別は分断を生み出すだけで、問題は解決しません。恐怖や差別の根は誰しも持つてしまう過剰な防衛本能です。差別的な言葉を発してしまった人も、悪意で偏見差別を起こしているのではなく、家族愛であり、自分や家族、大切な人を守りたい思いからであり、意地悪な悪人ではありません。こんな時だからこそ、皆で団結して恐怖に負けないように、お互いに優しい言葉をかけ合ひましょう。

ソーシャルディスタンスを心がけ、感染拡大を防ぎながら、引き続きその人らしい生活を送れる生活支援ができるよう、スタッフ一同、努力してまいります。事業継続のためにも、一人ひとりが自覚を持って行動し、感染を防ぐよう努めていただけますようお願いいたします。

特定非営利活動法人 ヒーライトねっと

理事長 河野 文美

アクティビティサポートセンターゆい

施設長 久保田 彩子